

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内



<http://www.molitec.co.jp/>

当社HPにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



IR情報メール配信サービス

Eメールアドレスをご登録頂いた皆様に最新の当社IR情報をEメールでお知らせいたします。ご希望の方はトップページからご登録ください。

CONTENTS

トップメッセージ	P 1
連結財務ハイライト	P 2
部門別の概況	P 3~4
連結財務諸表	P 5~6
環境への取り組み	P 7
グローバルネットワーク	P 8
会社情報	P 9
株式情報	P 10



本報告書は、環境保全のため、
植物油インクで印刷しています。

MOL!TEC

モリテック スチール株式会社

MOL!TEC

モリテック スチール株式会社

証券コード：5986



株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社第75期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

平成28年6月

取締役社長 永見 研二

営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や設備投資に持ち直しの傾向が見られるなど、緩やかな回復基調を維持しましたが、中国経済の成長減速や新興国経済の成長鈍化などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下におきまして、当連結会計年度の当期売上高は261億円と前連結会計年度比3.4%増加、営業利益は3億9千7百万円と前連結会計年度比31.7%減少、経常利益は2億2千7百万円と前連結会計年度比60.9%減少、親会社株主に帰属する当期純利益は2億1千1百万円と前連結会計年度比10.2%の減少となりました。

セグメント別の売上高、営業利益につきましては、特殊帯鋼、普通鋼等を販売しております商事部門では、売上高は148億8千8百万円と前連結会計年度比5.5%増加し、セグメント利益（営業利益）は5億5千4百万円と前連結会計年度比3.5%の減少となりました。

焼入鋼帯、鋳金加工品を製造販売しております焼入鋼帯部門、鋳金加工品部門では、焼入鋼帯部門につきましては売上高は15億5百万円と前連結会計年度比1.2%増加し、セグメント利益（営業利益）は1億8千8百万円と前連結会計年度比18.7%の減少となりました。鋳金加工品部門につきましては売上高は69億8百万円と前連結会計年度比3.9%減少し、セグメント利益（営業利益）は7億5千8百万円と前連結会計年度比9.5%の減少となりました。

また、海外事業につきましては、売上高は27億9千8百万円と前連結会計年度比14.7%増加しましたが、8千1百万円のセグメント損失（営業損失）（前連結会計年度は72万円の損失）となりました。

今後当社グループが対処すべき課題

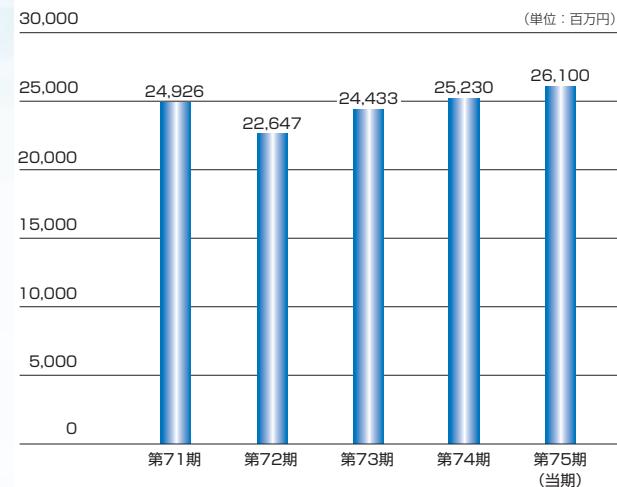
当社グループは、持続的な成長を目指して、特殊帯鋼の専門商社及び焼入鋼帯・鋳金加工品のメーカーとして、特殊帯鋼の市場占有率の向上を図るとともに、特殊帯鋼の特性を熟知した加工技術をもつ強みを活かした製品を自動車のエンジン・ミッション、農業機械、住環境機器などの広範な市場に提供してまいります。

また、価値提案企業として、特殊帯鋼の加工性情報を活用した販売に努め、広幅焼入鋼帯のさらなる市場創造と、自動車エンジン・ミッション分野へのアッセンブリ製品の展開、農業機械分野へのモジュール製品などの高機能な複合製品の展開をさらに強化するとともに、自社ブランド製品の開発に努めてまいります。

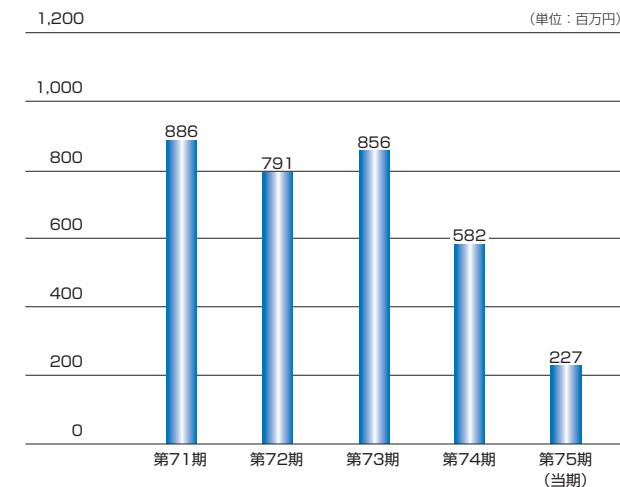
今後の海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進してまいります。

当社グループは、環境保全の取組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活動を全社をあげて推進し、環境への負荷低減に努めるとともに、環境にやさしい製品を生産してまいります。

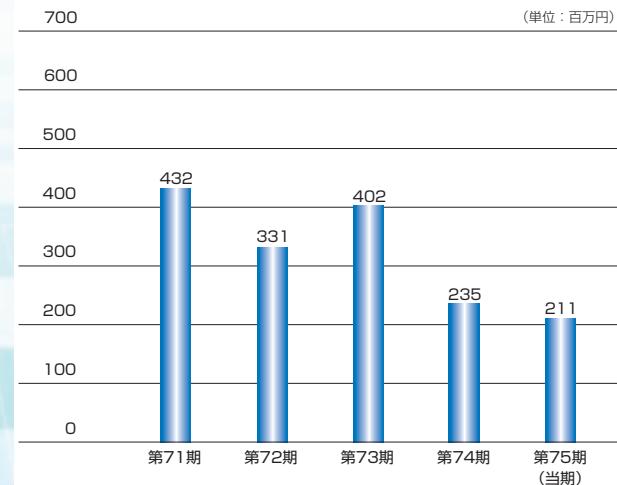
●売上高



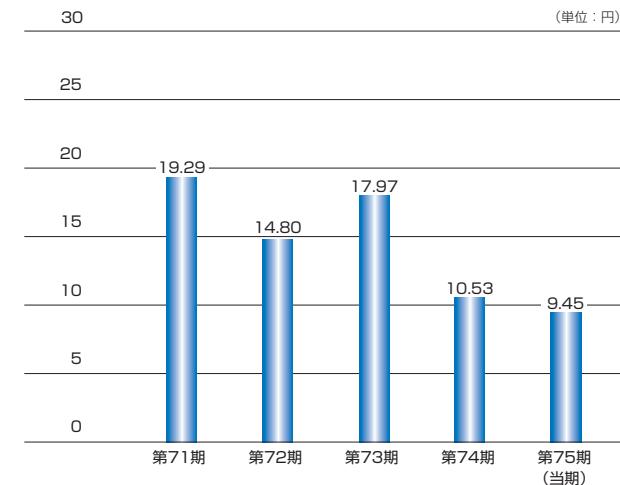
●経常利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



(注)第72期より連結ベースで記載しております。

部門別の概況

钣金加工品部門

売上高 6,908百万円

取扱製品

- ・自動車用機能部品
- ・家電用精密部品
- ・農業機械用モジュール部品
- ・ゼンマイ製品
- ・コードリール
- ・金型
- ・各種アッセンブリ製品



自動車部品



CVT部品



家電部品



コードリール



農業機械部品



オーガ

海外事業

売上高 2,798百万円

焼入鋼帯部門

売上高 1,505百万円

取扱製品

- ・焼入鋼帯
- ・バーナイト鋼帯



焼入鋼帯



刃物（用途例）



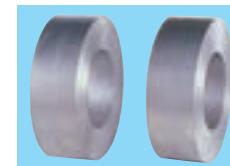
ゼンマイ（用途例）

商事部門

売上高 14,888百万円

取扱商品

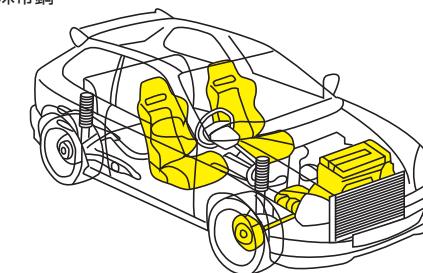
- ・みがき特殊帯鋼
- ・熱間圧延鋼帯
- ・みがき帯鋼
- ・冷間圧延鋼帯
- ・ステンレス鋼帯
- ・ばね用ステンレス鋼帯
- ・表面処理鋼板



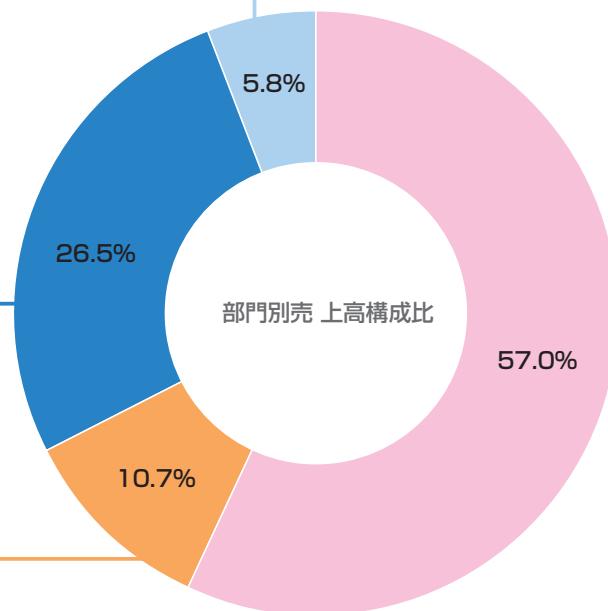
みがき特殊帯鋼



ステンレス鋼帯



当社取扱商品は自動車部品（エンジン、ミッション、ブレーキ、シート等）をはじめ、各種機能部品に使われております。



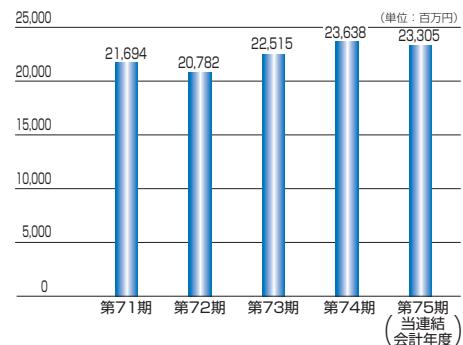
部門別売上高構成比

区分	売上高（百万円）
商事部門	14,888
焼入鋼帯部門	1,505
钣金加工品部門	6,908
海外事業	2,798
合計	26,100

連結財務諸表

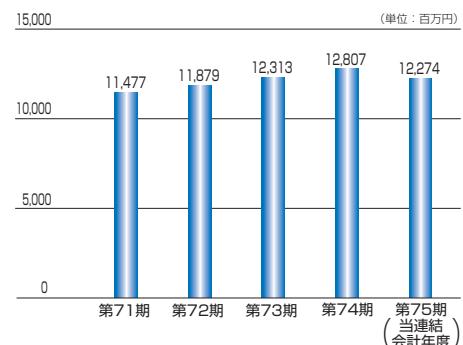
Point① 資産合計

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より3億3千3百万円減少し、233億5百万円となりました。



Point② 純資産合計

純資産の残高は、主に、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少により122億7千4百万円（前連結会計年度末比5億3千3百万円減少）となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	14,528,581	14,842,726
固定資産	9,109,547	8,462,368
有形固定資産	6,277,999	6,050,278
無形固定資産	77,834	81,775
投資その他の資産	2,753,712	2,330,315
Point① 資産合計	23,638,128	23,305,095
負債の部		
流動負債	7,638,205	8,340,449
固定負債	3,192,017	2,689,806
負債合計	10,830,223	11,030,256
純資産の部		
株主資本	11,660,612	11,648,249
資本金	1,848,846	1,848,846
資本剰余金	1,469,608	1,469,608
利益剰余金	8,382,594	8,370,329
自己株式	△ 40,436	△ 40,534
その他の包括利益累計額	1,143,578	578,974
その他有価証券評価差額金	808,525	410,875
為替換算調整勘定	365,683	189,949
退職給付に係る調整累計額	△ 30,630	△ 21,850
非支配株主持分	3,714	47,614
Point② 純資産合計	12,807,905	12,274,838
負債純資産合計	23,638,128	23,305,095

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	25,230,826	26,100,182
売上原価	21,666,717	22,588,550
売上総利益	3,564,109	3,511,631
販売費及び一般管理費	2,982,744	3,114,403
営業利益	581,364	397,228
営業外収益	136,257	161,485
営業外費用	135,459	330,939
経常利益	582,162	227,774
特別利益	8,000	375,675
特別損失	1,264	12,626
税金等調整前当期純利益	588,897	590,823
法人税、住民税及び事業税	303,209	316,930
法人税等調整額	49,314	60,806
当期純利益	236,373	213,086
非支配株主に帰属する 当期純利益	445	1,287
親会社株主に帰属する 当期純利益	235,928	211,798

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	456,572	1,191,540
Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 963,059	△ 116,927
Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	542,246	△ 993,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	57,073	△ 73,124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,832	8,368
現金及び現金同等物の期首残高	3,828,466	4,029,083
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	107,783	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,029,083	4,037,452

Point③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を5億9千万円、非資金項目である減価償却費を6億4千2百万円計上したほか、売上債権の減少4億5千5百万円、仕入債務の減少6億6百万円、法人税等の支払い2億2千2百万円、たな卸資産の減少2億5千8百万円等により、11億9千1百万円の資金増加となりました。

Point④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出7億5千1百万円、固定資産の売却による収入1億7百万円、投資有価証券の売却による収入2億9千9百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入2億2百万円等により、1億1千6百万円の資金減少となりました。

Point⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出6億7千4百万円、配当金の支払い2億2千4百万円等により、9億9千3百万円の資金減少となりました。

環境への取り組み

グローバルネットワーク

ISO14001 (環境マネジメントシステム規格) 認証取得

三重大山田工場 取得日: 2002年5月10日 ジュタワン・モリテック (タイランド) 株式会社
 宇都宮工場 取得日: 2004年6月25日 取得日: 2007年1月16日
 本社・営業部門 取得日: 2006年4月28日

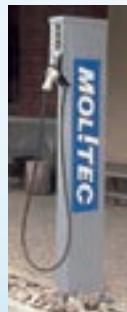
当社グループは、海外市場における需要家ニーズへの迅速な対応と、新規需要開拓を積極的に推進するために海外拠点の生産体制、販売体制を強化し、グローバル展開を推進しております。

1 環境に対する取り組みと考え方

当社グループは環境保全への取り組みを経営上の重点課題の一つと位置づけ、あらゆる面での環境への負荷低減に努めるとともに、環境保全に配慮した製品を提供すること(設計開発、生産工程、原材料、物資の投下及び廃棄、物流等の各過程において省資源、省エネルギー、リサイクル等への配慮)、また法令遵守はもとより、環境教育の強化を図ることによって持続的に発展が可能な社会の構築に貢献してまいります。

2 環境への配慮

室内物干し器 「くるリング」
 充電スタンド



安全・安心の業界初「無接点方式」EV/PHV用ケーブル自動巻取り式充電スタンドは、現在、お取引企業様やゴルフ場などの駐車場に設置いただいております。



3 製造部門におけるCO₂排出量の削減

当社はCO₂排出削減に取り組み、2009年度生産原単位(t-CO₂/t)対比で毎年1%以上削減の自主目標を掲げ、その実現に向けさまざまな取り組みを推進しております。

2015年度月平均生産量は2014年度対比で1.8%減少しましたが、生産効率向上に加え、太陽光発電の導入・工場内のLED照明化を進めた結果、CO₂排出量(t-CO₂)も612(t-CO₂)から577(t-CO₂)となり、5.7%の削減となりました。

また2015年度通期生産原単位は0.264(t-CO₂/t)と前年度対比で4%削減となり、自主目標以上の削減を達成することができました。

引き続き省エネルギーに努め、今後もCO₂排出削減目標達成に向けて取り組んでまいります。

過去5年間の製造部門生産原単位とCO₂排出量推移(月平均) CO₂排出量(左軸)
生産原単位(右軸)



・CO₂排出量については、各年度環境省公表の排出係数にて算出



会社情報 (平成28年3月31日現在)

株式情報 (平成28年3月31日現在)

■ 会社概要

商号 モリテックスチール株式会社
 創業 昭和18年5月
 設立 昭和25年11月
 資本金 18億4,884万6,387円
 従業員 466名(連結)

■ 役員

取締役会長	清水 正廣	監査役(常勤)	五島 吉朗
取締役社長	永見 研二	監査役(常勤)	森 剛之
専務取締役 執行役員	赤尾 正則	監査役(社外)	布川 裕康
専務取締役 執行役員	木村 慎一	監査役(社外)	石山 隆生
常務取締役 執行役員	松下 善紀		
常務取締役 執行役員	門 高司		
取締役 執行役員	谷口 正典		
取締役 執行役員	森 泰之		
取締役(社外)	阪口 誠		

■ 事業所所在地

《国内》

- ◎ 本社：大阪
- 営業拠点：大阪、東京、名古屋、広島、北海道、九州（福岡）
- 工場：三重、宇都宮



■ 株式の状況

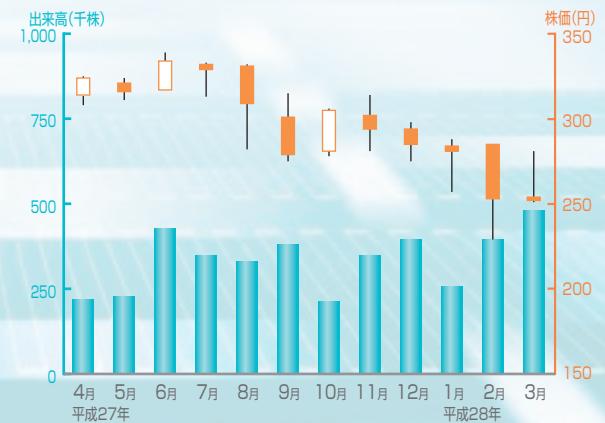
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 22,406,047株
 (自己株式152,016株を除く。)
 単元株式数 100株
 株主数 3,664名

■ 大株主の状況

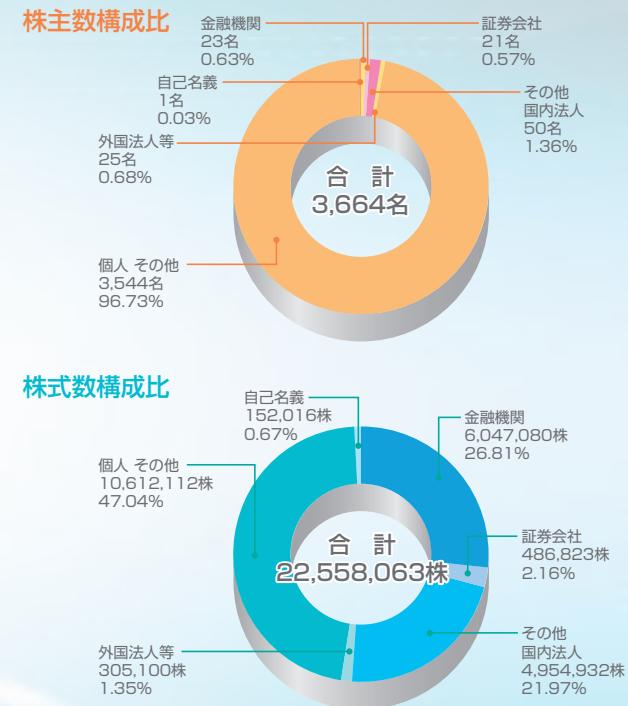
株主名	持株数 千株	持株比率 %
日新製鋼株式会社	2,244	10.02
株式会社メタルワン	1,992	8.89
日本生命保険相互会社	1,270	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,110	4.96
株式会社近畿大阪銀行	960	4.29
株式会社みずほ銀行	780	3.48
大同生命保険株式会社	600	2.68
水元 公仁	600	2.68
森 文子	492	2.20
森 浩之	466	2.08

(注) 持株比率は自己株式(152,016株)を控除して計算しております。

■ 株価推移表



■ 株式の状況



■ 1株当たり年間配当金(円) 配当性向の推移(%)

